

保護樹木

保護樹木の指定制度は、良好な環境を確保するため、市内にある樹木で、健全で学術的または歴史的に意義ある一定の基準を満たすものについて『保護樹木』として指定し、次世代へ残していこうとするものです。

1 青地町・志津小学校のクスノキ(3本)

種名	科名	樹高	幹周	推定樹齢
①クスノキ	クスノキ	24m	377cm	190年
②クスノキ	クスノキ	20m	355cm	180年
③クスノキ	クスノキ	20m	311cm	150年

○樹木の概要
志津小学校の校門前の道路沿いに並んでいるクスノキ3本が保護樹木である。これらクスノキは、かつて旧青地城の堀の周囲を固めるために植えられたとされている。クスノキからは樟脳がとれ、腐りにくいため仏像や器具の材とされてきた。



2 西矢倉一丁目・湖南農業高校のクスノキ(17本)

種名	科名	樹高	幹周	推定樹齢
クスノキ	クスノキ	平均18m 最大23m	平均249cm 最大366cm	50~110年

○樹木の概要
湖南農業高校のグラウンドと農場をへだてる川沿いに植えられた17本のクスノキの並木が保護樹木である。これらクスノキは、自然に近い環境のもとで生長したため、平均樹高が18mにも達しており、市街地の並木としては圧巻である。



3 大路二丁目・小汐井神社のムクノキ

種名	科名	樹高	幹周	推定樹齢
ムクノキ	ニレ	16m	285cm	510年(伝承) (指定日 H17.3.1)

○樹木の概要
地上3m付近で合体している東側の細いクロガネモチと西側の太いムクノキのうち、ムクノキが保護樹木である。現在クロガネモチは枯死してしまっただが、クロガネモチの赤い実とムクノキの黒い実が陰陽の男女の木として尊ばれ、当神社の御霊験である安産、縁結びの御霊木とされていた。
※クロガネモチはH22.9.1に指定解除



4 渋川二丁目・伊砂砂神社のモッコク

種名	科名	樹高	幹周	推定樹齢
モッコク	ツバキ	10m	192cm	160年 (指定日 H17.3.1)

○樹木の概要
このモッコクは、当神社の御神木となっている。モッコクは、本来海岸地域に生育する樹木であるが、内陸部にあつてこのような大径木にまで生長するのは珍しい。昔は樹皮から茶褐色の染料をとったり、燃料の薪炭材としていた。



5 野路町・稲荷神社のクロガネモチ(3本)

種名	科名	樹高	幹周	推定樹齢
①クロガネモチ	モチノキ	11m	215cm	130年
②クロガネモチ	モチノキ	14m	270(173+97)cm	130年
③クロガネモチ	モチノキ	11m	135cm	90年

○樹木の概要
境内に生育する3本のクロガネモチが保護樹木で、そのうちの2本は幹周が2mを超える大径木である。クロガネモチは雌雄異株で、雌株には小さな球形の果実をつけ、熟すと赤くなり、秋空に赤と葉の緑のコントラストは美しい。



6 野路五丁目・旧東海道筋のアベマキ、エノキ

種名	科名	樹高	幹周	推定樹齢
アベマキ	ブナ	12m	275cm	160年
エノキ	ニレ	8m	294cm	110年

○樹木の概要
アベマキとエノキの2本が保護樹木である。アベマキは里山を構成する代表的な樹木で、いわばこの地域の原風景を今日に伝えている。エノキは、かつて旧街道沿いの一里塚にランドマークとして植えられた樹木の代表である。



7 下寺町・天満宮のケヤキ

種名	科名	樹高	幹周	推定樹齢
ケヤキ	ニレ	23m	456cm	130年 (指定日 H17.3.1)

○樹木の概要
このケヤキは遠くからでも確認でき、地域のランドマーク的な存在となっている。ケヤキとは目立つ木の意味で、材は今でも重要な建築材であるが、そのほか器具や家具、土木、彫刻など多方面に利用されている。



8 下物町・観音堂のクロマツ

種名	科名	樹高	幹周	推定樹齢
クロマツ	マツ	13m	425cm	210年(伝承) (指定日 H17.3.1)

○樹木の概要
このクロマツは、下物観音堂の敷地に景勝や防風の目的で植えられたものと考えられる。クロマツは海岸地方に広く分布する樹木であるが、琵琶湖岸が海岸とよく似た気候や立地条件となっているために、湖岸には多く植栽されている。



17 大宮若松神社自然環境保全地区

所在地	指定面積	指定日
南山田町	8,796㎡	H31.4.1

○自然環境保全地区の概要
樹林地は、コジイ優占のコジイ林と、ナラガシワ、エノキ、カスミザクラなどの落葉広葉樹が混生したヒノキ・スギ植林で占められている。また、林床には希少種のカラタチバナも生育している。



9 下寺町・天神社のクスノキ

種名	科名	樹高	幹周	推定樹齢
クスノキ	クスノキ	23m	456cm	200年 (指定日 H21.3.1)

○樹木の概要
地上5m付近から枝をだしはじめ、全体の枝張りも顕著で、こんもりとしたクスノキ特有の自然樹形を形成している。鎮守の森における存在感とランドマーク性、また市内最大級の大木であることから、地域の象徴的な存在である。



10 矢橋町・「矢橋の帰帆」のイチョウ

種名	科名	樹高	幹周	推定樹齢
イチョウ	イチョウ	17m	365cm	260年 (指定日 H21.3.1)

○樹木の概要
このイチョウは市内最大で、太い枝の基部から気根(俗に乳という)が下がっている。幹に水分が多く火熱によく耐えることから、近江八景のひとつである「矢橋の帰帆」のこの地に、港の蔵宿や旅宿の防火を目的に植えられたと伝えられている。



11 志那町・志那神社参道のクロマツ(6本)

種名	科名	樹高	幹周	推定樹齢
クロマツ	マツ	平均14m 最大16m	平均211cm 最大231cm	平均60年 最大80年 (指定日 H21.3.1)

○樹木の概要
本殿前の延長約108mの参道は、自然樹形が保たれているクロマツを主体とした松並木となっている。保護樹木は、この松並木のなかの、指定基準に該当するクロマツ6本である。潮風に強いので江戸時代から各地の海岸に防風林として植えられた。
※クロマツ(1本)は枯死したためH24.12.11に指定解除



※8下物町・観音堂のクロマツ
松くい虫の影響により枯死
令和2年4月24日指定解除